

令和8年度「夏の交通事故防止運動」実施要綱

第1 目的

本運動は、夏休みに入るこの時期に、夏の開放感、暑さによる疲労、レジャー先での交通量増加等による交通事故の増加が予想されるため、県民総ぐるみで交通安全運動を展開し、広く県民に交通安全意識の普及啓発を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることで交通事故防止に資することを目的とする。

第2 期間

運動期間 令和8年7月11日（土）から20日（月）までの10日間

第3 スローガン

交通安全 いつも心に かごしまじ 鹿児島路

第4 運動重点

- 1 高齢者とこどもの交通事故防止
- 2 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底
- 3 飲酒運転の根絶
- 4 全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

第5 趣旨及び推進項目

1 高齢者とこどもの交通事故防止

【趣旨】

令和7年中の高齢者が関連する交通事故は、発生件数1,170件（前年比－118件）、死者数31人（前年比－1人）、負傷者数527人（前年比－98人）であった。

高齢者の交通事故については、平成15年以降、23年連続で全死者数の過半数を占めており、令和7年中の交通事故による全死者数44人のうち31人の約7割を高齢者が占めている現状からも、高齢者の交通事故抑止対策が喫緊の課題となっている。

また、令和7年中の子ども（中学生以下）が関連する交通事故は、発生件数375件（前年比－13件）、死者数0人（前年比－1人）、負傷者数135人（前年比＋24人）で、発生件数は減少し、死亡事故は発生していないものの、負傷者数は前年と比較して増加している。

例年この時期は、夏休み前の開放感から、こどもの道路への飛び出しや誤った自転車通行による交通事故の多発が懸念されることから、地域が一体となった、こどもの交通事故防止対策が必要である。

【推進項目】

- ・ 加齢等に伴う身体機能の変化が運転に及ぼす影響（反応速度が遅くなったり、動作の正確性が低下したりするなど）等を踏まえたシミュレーターの活用等による参加・体験・実践型交通安全教育及び広報啓発の推進
- ・ 衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全技術を搭載した安全運転サポート車の普及啓発とサポートカー限定免許制度に関する広報啓発の推進
- ・ 安全運転に不安のある高齢運転者等に対する安全運転相談窓口の積極的な周知と各種支援施策の周知の推進
- ・ こどもに対する交通安全指導・保護誘導活用の徹底
- ・ 運転中のスマートフォン使用等、ながら運転防止対策の徹底
- ・ 車両運転時における歩行者保護の意識の醸成
- ・ 「プラス1（ワン）運動」や「3（サン）ライト運動」の推進
→（別添「本県で推進中の各種安全運動の概要」参照）

2 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール理解・遵守の徹底

【趣旨】

令和7年中の自転車に関連する交通事故は、発生件数202件（前年比－50件）、死者数1人（前年比±0人）、負傷者数192人（前年比－50人）であり、発生件数や負傷者数は減少傾向にあるものの、自転車乗車中に交通事故に遭った死傷者の約9割に法令違反が認められた。

また、本年4月1日から、16歳以上の者による自転車の一定の交通違反に対して交通反則通告制度が導入されたことなどを踏まえ、自転車利用者に対して更なる交通ルール理解・遵守の徹底を浸透させていく必要がある。

特定小型原動機付自転車（いわゆる電動キックボード等）に関しては、全国的には自転車や一般原動機付自転車と比較して、全事故に占める飲酒運転による交通事故の割合が著しく高いという特徴があるほか、信号の遵守、車道通行の原則など、基本的な交通ルールが守られていないことから、交通ルール理解・遵守の徹底に加え、乗車用ヘルメットの着用や自転車保険への加入を促していく必要がある。

【推進項目】

- ・ 自転車の交通反則通告制度が導入されたことを踏まえ、車道通行の原則、車道は左側通行、歩道は歩行者優先等の「自転車安全利用五則」にのっとりた自転車の基本的な通行方法や自転車通行空間が整備された箇所における通行方法の周知と遵守の徹底を促す取組の推進
- ・ 信号の遵守や交差点での一時停止・安全確認や歩道通行時の歩行者優先のほか、夜間の無灯火走行、二人乗り、傘差し等の片手運転、イヤホン等を使用した運転、並進の禁止等交通事故防止のための基本的な交通ルールの周知と遵守の徹底を促す取組の推進
- ・ 改正道路交通法により施行された自転車に対する新たなルール（「ながらスマホ」の禁止、酒気帯び運転に対する罰則の創設）に関する広報啓発の推進

- ・ 警察庁が作成した「自転車ルールブック」を活用した自転車の交通ルールの分かりやすい周知啓発
- ・ 自転車配達員に対する街頭における指導啓発や雇用主に対する交通安全対策の働き掛け等の推進
- ・ 「かごしま自転車条例」の理解促進
- ・ 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用の必要性及びその被害軽減効果に関する理解の促進と努力義務化を踏まえた着用の徹底に向けた広報啓発の推進
- ・ 夕暮れ時の早めのライト点灯の徹底と自転車の視認性を向上させるための反射材用品等の取付けを促す取組の推進
- ・ 幼児同乗中の自転車の特性（重心が高く不安定であるなど）を踏まえた転倒防止など安全利用に関する広報啓発や幼児用座席に乗車させる際のシートベルト着用の徹底を促す取組の推進
- ・ 自転車利用者等の安全を確保するための定期的な点検整備を促す取組の推進
- ・ 自転車事故の被害者救済に資するための損害賠償責任保険等への加入を促す取組の推進
- ・ 「自転車安全利用五則」の周知と実践
→（別添「本県で推進中の各種安全運動の概要」参照）
- ・ 特定小型原動機付自転車の運転者による飲酒運転、信号無視等の悪質・危険な違反のほか、歩道走行等の通行区分違反、横断歩行者等妨害等の歩行者に危険を及ぼすおそれの高い違反等を防止するための、効果的かつ適切な交通安全教育の推進
- ・ シェアリング事業者、販売事業者等と連携した特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底を促す取組の推進
- ・ シェアリング事業者、販売事業者等と連携した被害軽減のための乗車用ヘルメット着用を促す取組の推進

3 飲酒運転の根絶

【趣旨】

令和7年中の飲酒運転による交通事故は、発生件数29件（前年比－16件）、死者数4人（前年比－4人）、負傷者数35人（前年比－16人）であり、いずれも減少傾向にあるものの、未だ飲酒運転による交通事故が後を絶たない状況である。

例年、この時期は、気候や長期休みなどを利用したイベントでの飲酒の機会が増加することから、悪質危険な飲酒運転による悲惨な交通事故を抑止するため、家庭、地域、職場等における「飲酒運転を許さない環境作り」に対する周知啓発を強力に推進する必要がある。

【推進項目】

- ・ 飲酒運転の危険性・悪質性についての周知
- ・ 安全運転管理者による運転前後の目視による運転手の酒気帯びの有無の確認とアルコール検知器使用の推進

- ・ 家庭、地域、職場等における「飲酒運転を許さない環境作り」の推進
 - ・ アルコールが身体に及ぼす影響や分解に要する時間等の正しい知識の理解促進
 - ・ 「ハンドルキーパー運動」の推進
 - ・ 「飲酒運転8（やっ）せん運動」の推進
- （別添「本県で推進中の各種安全運動の概要」参照）

4 全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

【趣旨】

令和7年中、本県における一般道での後部座席のシートベルト着用率は35.7%（全国平均45.8%）、チャイルドシートの使用率は68.6%（全国平均82.4%）であり、いずれも全国平均と比べて低い状況にある。

シートベルトやチャイルドシートは、交通事故発生時に命を守る大切な装備であることから、全ての座席のシートベルト着用及びチャイルドシートの正しい使用を徹底する必要がある。

【推進項目】

- ・ 全ての座席におけるシートベルト着用と6歳未満の幼児に対するチャイルドシートの使用義務の周知及びその必要性・効果に関する理解を促す取組の推進
 - ・ シートベルトの着用位置の調整、チャイルドシートの確実な取付方法や正しい着座方法等、正しい使用方法に関する広報啓発の推進
 - ・ 体格等の事情によりシートベルトを適切に着用させることができない6歳以上のこどもへのチャイルドシート使用に関する広報啓発の推進
 - ・ 高速乗合バスや貸切バス等の事業者に対する全ての座席におけるシートベルト着用を徹底させるための指導・広報啓発の推進
 - ・ 「全席ベルト着用!!「します・させます運動」」の展開
- （別添「本県で推進中の各種安全運動の概要」参照）

※ 本県で推進中の各種安全運動の概要

【プラス1（ワン）運動】

- ・横断時の確認をプラス1（道路中央付近でもう一度左を確認）
- ・夜光反射材をプラス1
- ・明るい服装をプラス1

【3（サン）ライト運動】

- ・夕暮れ時の早めのライト点灯
- ・原則上向きライト点灯
- ・トンネル内ライト点灯

【飲酒運転8（やっ）せん運動】

- ・酒を飲んだら運転しません
- ・運転するなら酒は飲みません
- ・酒を飲んだ人には運転させません
- ・酒を飲んだ人には車は貸しません
- ・運転する人に酒はすすめません
- ・酒を飲んだ人の車には同乗しません
- ・使用者は、従業員に飲酒運転を命じたり、認めたりしません
- ・酒を飲んだら自転車も乗りません

【全席ベルト着用!!「します・させます運動」】

- ・車を運転するならシートベルトをします
- ・車に同乗するならシートベルトをします
- ・後部座席を含む全席にシートベルトをさせます
- ・こども（幼児）にはチャイルドシートをさせます

【自転車安全利用五則】

- ① 車道が原則、左側を通行（歩道は例外、歩行者を優先）
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用